



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



心の花を咲かせよう
がんばろう日本!

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年3月12日発行 第306号

2011-2012年度 No. 29

WEEKLY REPORT



こころの中を見つめよう 博愛を広げるため
国際ロータリー・クラブ会長

本日のプログラム

平成24年3月12日
卓話 『アジアの経済情勢』
株式会社フジヒロ商会 代表取締役社長
東京六本木ロータリー・クラブ会員
篠塚 博 様

クラブからのお知らせ [3月5日]

● 安井会長挨拶

- ・東日本大震災から1年が経過しようとしています。六本木RCでは震災復興支援を考え続けて参りましたが、ようやく仙台南RCを通じて、地元の小・中学校からの々々に必要とされる教材や遊具等の購入の要請に役立てるため、地区的承認を得て312万円の義援金をお送りすることが決りました。
- ・地区大会で、傘寿会員のお祝いで大橋会員に記念品が贈呈されました。



● 片岡幹事報告

- ・第4回Jonan Culture Workshopのご案内
テーマ：「発想の転換から生まれる美」
講 師：中川聖久氏
2012年3月7日、18:30～
グランドプリンスホテル新高輪にて

● 10 for 2 開催報告

安部さん小篠さんの「10 for 2」が2月24日(金)にグランドハイアット東京のチャイナルームにて開催されました。

- ・チャリティークラシックカラーラリーとチャリティーゴルフ大会のお知らせ
3月31日・4月1日にチャリティークラシックカラーラリーが開催され、3月31日、ヴィンテージゴルフ俱楽部にてチャリティーゴルフ大会が開催されます。
お問い合わせはロータリー・フェローシップ・ラリー大会事務局まで。(03-5420-2073)
- ・本日は例会後理事会を開催します。

3月お誕生月の会員

渡邊 滋さん
秋津 壽男さん
篠塚 博さん
小笠 裕子さん
(例会は欠席)





平成24年2月6日

卓話 『漢字の字謎:表意的な文字遊戯』

米山獎学生

東京大学大学院 総合文化研究科 地域文化研究修士2年

吳修喆様



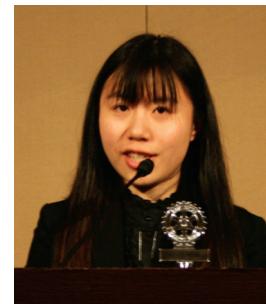
漢字は日本人にとっても、中国人にとっても、もはや空気のような存在であろう。同じく漢字文化圏の国として、文化や民俗などの面において、たくさんの共通点が見られる。今は言葉が通じない国同士であるが、漢字を用いて、儒教の教えに沿ってコミュニケーションをすれば、通じる部分はまだ大きい。漢字は「表意文字」であり、つまり、意味を表す文字と言われる。広い国土を持つ中国にとって、漢字があるからこそ、一つの文化共同体として、国が統合されている。日本人も近年、「漢字力」をますます重視している。例えば、一年を締めくくってその年の世相を象徴する「今年の漢字」や、漢字力を検定する「漢検」、テレビでよく見られる漢字クイズの番組など、漢字ブームが起きていると言えよう。逆に漢字の母国である中国では、そのような動きが何故か見られない。しかし、漢字クイズのルーツは間違いなく中国にあり、そもそも、漢字がクイズになれるのは、その論理的な構造による。中国では古くから漢字の表意文字特質を利用して作られた文字遊びがある。それはすなわち、漢字の謎々と書いて「字謎(じめい)」である。「字謎(じめい)」とは何か、先ず例から見てみよう。

二形一体、四支八頭、四ハ一八、飛泉仰流。

これは六朝時代の詩人である鮑照(420頃～466)が「字謎」を題にして書いた三首の詩の内の一首である。答えは「井」の字。前の三句は字の形を表していて、最後の一句は井戸の様子を比喩している。簡単にいうと、字謎は漢字の音・形・義を材料にし、パートや偏旁の組み合わせ、字画の増減や入れ替えなどを中心にする「なぞ」の

一種である。字謎の秀作は古代文人の逸話や各時代の稗史小説の中に多く見られる。『世說新語』に書かれている有名な謎話「黃絹幼婦、外孫齶臼」はまさにそれである。その他、『太平廣記』の中に記載している「李謨外孫許雲封」の七文字が隠されている李白の謎詩や、蘇軾が書いた『夜燒松明火』という詩の中に隠されている「松」の字謎など、探せば例が非常に多い。

集めた例を時代順で見ると、字謎のテクニックは以下のような発展を経過した。第一段階では漢字を全体的に観察し、文学的に表現するものが多い。鮑照の「井」の字謎がその典型である。第二段階では、偏旁や字形の細部を解体、消去、また組合せするという「離合」の手法を使うものが多い。第三段階では、形の近い漢字を聯想させ、文の中に更にトリックを仕掛けるものが多い。最初は識字階級である文人の間でしか行われていなかったが、時代につれ、市民文化の振興に伴って下流社会へと降りて、いわば一種のエリート文化が庶民文化に転じた傾向がある。この転向が唐代から始まり、明清時代に一番顕著になった。そして、一定程度の普及が終わると、字謎は再び古典文学の領域に戻り、文面を一層文学美に近づけようと磨かれはじめ、知恵の競争や娯楽のためのものから、精神的な探求を果たすものへと変わりつつ、実用性だけでなく、芸術性をも追求するようになってきたと見られる。





2011～2012年度 第9回理事会報告

【審議事項】

- ① ミクロネシア高校生サマーキャンプ参加費用支援の件（苅田国際奉仕委員会委員長）
次年度実施されるミクロネシアの高校生の軽井沢サマーキャンプに参加する費用として、本年度と同等額程度（30数万円）を当クラブで負担することが、全会一致で可決された。

【報告事項】

- ① 松本智会員の休会の件（片岡幹事）
松本智会員から、会社が川崎に移転したことにより例会への出席が困難との理由で休会届けが提出され、休会を承認された。
- ② 「END POLIO NOW」の件（安井会長・渡辺広報委員会委員長）
安井会長より、「END POLIO NOW」点灯式及びチャリティパーティに係る概算収支の報告がなされた。
また、渡辺広報委員会委員長より、メディア露出状況（TV、新聞等）及び後援・協賛の内容について報告がなされた。
- ③ インターンシップについて（苅田国際奉仕委員会委員長）
西町インターナショナルスクール及び聖心インターナショナルスクールのインターンシップのスケジュールについて報告がなされ、承認された。
・西町インターナショナル 4月25日水曜日 9年生11名
・聖心インターナショナル 5月22日火曜日 12年生35名
- ④ スリランカ育英支援について（苅田国際奉仕委員会委員長）
6月に開催されるスリランカ育英支援に係る20周年記念式典に当クラブが寄付をする件に付き、さらに詳しい情報を得た後に再度審議を行うこととされた。



2012年2月15日 第18回ワイン同好会 (東京銀座RC・東京六本木RC合同ワイン会)

昨年3月の銀座RCワインを楽しむ会との合同ワイン会の返礼として、今回、銀座RCの企画で合同ワイン会のお誘いがありました。

定員は30名で銀座から15名、六本木から15名の予定で、場所は「ベージュ アラン・デュカス東京」銀座シャネルビルの10階でした。

参加者は銀座RCから土屋了介会長はじめ19名、六本木RCは安井会長以下9名でした。

料理は、青山ブノワから移られた小島シェフの鎌倉野菜シリーズがとてもおいしく大満足でした。

ワインはAlain Ducasse NV, Lapeyre2009(ジュランソン) Montagny 1er 2007 Mug, Gevrey Chambertin2007のほか ポルト酒1995も出されました。





ニコニコBOX情報

内田久美子さん、新村嘉也さん、福原有一さん
(東京銀座RC)
先般開催された銀座RCワイン会に安井会長、安部様、渡辺様、秋津様、渡邊様と宇佐見様にご参加賜り厚く御礼申し上げます。
又、本日は銀座RCより3名例会におじゃまさせて頂きますので、宜しくお願ひ申し上げます。

柏原 玲子さん
米山学友のハトバストアーツ旅行でまいりました。
東京タワーの展望台から見る景色は格別でした。

安間 百合子さん
奈良さま、本日はありがとうございます。
「茶の湯と金沢」のお話、たのしみにうかがわせて頂きます。

大橋 寛治さん
このところ、しばしばの例会欠席、お詫び申し上げます。

中山 祥弘さん
奈良様の卓話、感謝。
日本文化の伝導者としての活躍を期待します。

宇佐見 千嘉さん
雨の中をようこそおこし下さいました。
奈良宗久様、本日の卓話を楽しみにうかがわせていただきます。

浅田 豊久さん
奈良先生、今日はお運びいただきありがとうございます。
よろしくお願ひ致します。

苅田 吉夫さん
先週中学校の同窓会のため出雲に行って来ました。今年は古事記1300年で、多くの記念行事が島根県で繰りひろげられます。島根に行くなら今年がチャンスです!

安井 悅子さん
奈良宗久様、本日の卓話を楽しみにしておりました。よろしくお願ひします。

松島 正之さん
奈良さま、今日の卓話を楽しみにしています。
よろしくお願ひします。

山口 富久さん
3月は二人の娘の誕生月です。

3月5日 合 計 40,000円
累 計 1,381,000円

3月5日の例会出席率 (暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 31名 (61%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 6名

※ メキキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 安井 悅子 幹事 片岡 雅敦

広報・週報 委員長 渡辺 美智子

広報・週報 副委員長 関口 明博